取扱説明書

日立リビングサプライ

保証書付

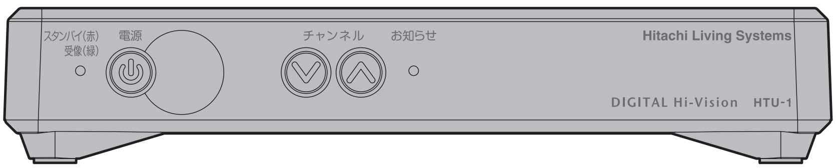
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。
必ず記入を受けてください。

地上デジタルハイビジョンチューナー

形名

HTU-1

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

付属品について

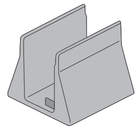
付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

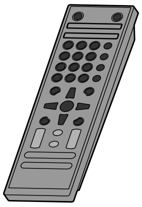
お守りください

- ACアダプタは、必ず付属品をお使いください。
- 付属品のACアダプタは、本機以外の電気機器には使用しないでください

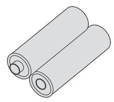
スタンド 28



リモコン送信機 22

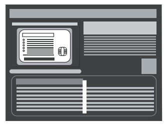


単4形乾電池（2本）（動作確認用） 22

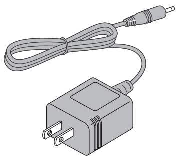


取扱説明書(本書)…1冊

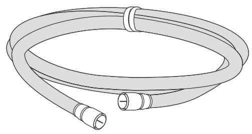
B-CAS（ビーキャス）カード 28



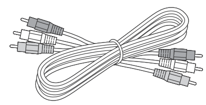
ACアダプタ〔1.8m〕 30



RFケーブル〔1.5m〕 24



映像（コンポジット）・音声コード〔1.2m〕 26



本書の見かた

この説明書は、主に下記の内容で構成されています。

この説明書で使用しているアイコンについて

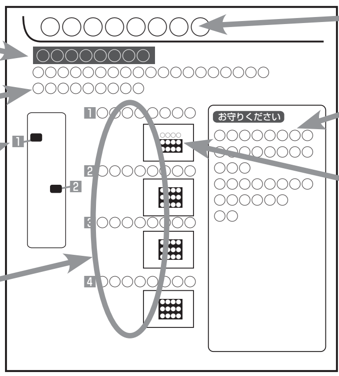
⚠注意	安全上、守っていただきたいことを記載しています。
お守りください	操作上、守っていただきたいことを記載しています。
お知らせ	操作上、知っておいていただきたいことを記載しています。
メ　モ	知っていると便利な操作・解説を記載しています。
📖	マークは、取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

カーソルボタンの記号について

本文中の操作説明では、カーソルボタンの押す方向を下図のように表して説明しています。

[▲]／[▼]／[◀]／[▶] **上下左右方向の操作**	[◀]／[▶] **左右方向の操作**
[▲]／[▼] **上下方向の操作**	[◀] **左方向の操作**
[▲] **上方向の操作**	[▶] **右方向の操作**
[▼] **下方向の操作**	

各ページの見かたについて



使用上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）を理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示について

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷＊[1]を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害＊[2]を負う可能性が想定される内容および物的損害＊[3]のみの発生が想定される内容を示しています。

＊ 1： 重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒など後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要すものを指しています。
＊ 2： 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指しています。
＊ 3： 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指しています。

図記号の例

⚠ 気をつけなければならない。「注意」を示します。

⚠ 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

⊘ してはいけない。「禁止」を示します。

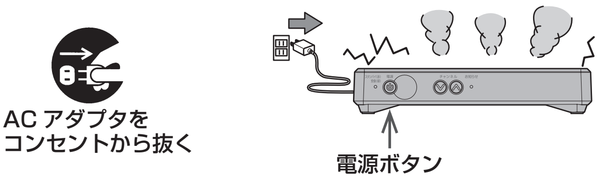
❗ 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

異常や故障のとき

⚠ 警告

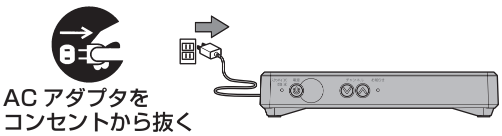
■煙が出ている、変なにおいや音がするときは、すぐに本機の電源を切り、必ず AC アダプタをコンセントから抜く



異常のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなることを確認して販売店に修理をご依頼ください。

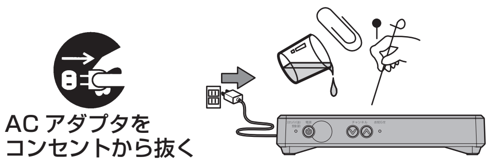
⚠ 注意

■画面が映らない、音が出ないなどの故障の場合には、すぐに本機の電源を切り、必ず AC アダプタをコンセントから抜く



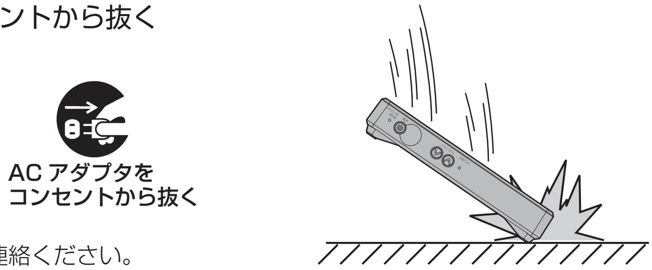
それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■内部に水や異物などが入った場合は、すぐに本機の電源を切り、必ず AC アダプタをコンセントから抜く



それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

■本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに本機の電源を切り、必ず AC アダプタをコンセントから抜く



それから販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

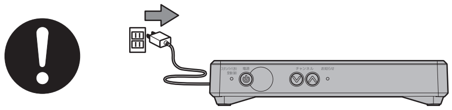
●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

使用上のご注意（つづき）

設置するとき

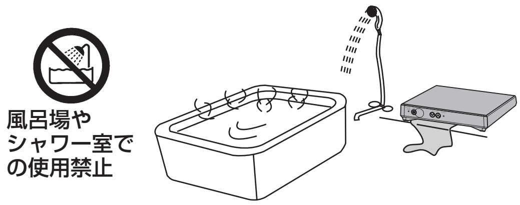
⚠ 警告

■ AC アダプタをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける



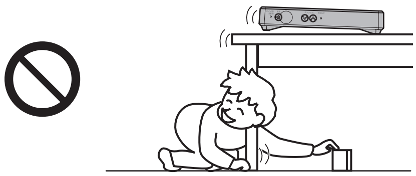
本機が異常や故障となったとき、AC アダプタをコンセントに差し込んだままにしておくと、火災・感電の原因となることがあります。
本機は電源が「切」の状態でも、極微弱な電流が流れています。

■ 風呂、シャワー室では使用しない



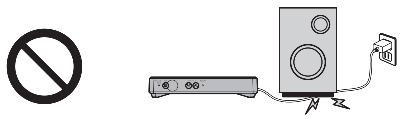
火災・感電の原因となります。

■ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



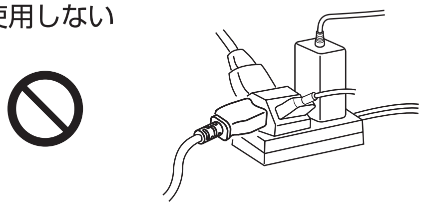
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない



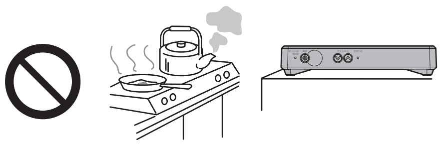
コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない



● たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災・感電の原因となります。
● 表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。

■ 湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない



火災・感電の原因となることがあります。

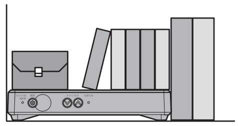
⚠ 警告

■移動させる場合は、電源を切り、必ず AC アダプタをコンセントから抜く

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。

■本機の通風孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

特に次のような使い方はしない。故障の原因となります。

● 押入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。

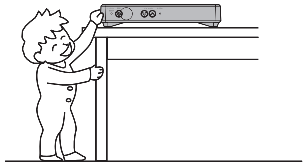
● じゅうたんや布団の上に置く。

● テーブルクロスなどを掛ける。

■本機を医療機器の近く（同部屋）には設置しないでください

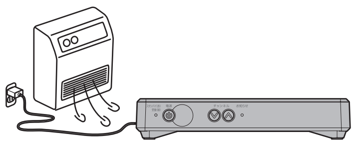
医療機器の誤動作の原因となることがあります。

■本機を頭や顔、手足などをぶつけるような場所に設置しない



けがの原因になることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■AC アダプタを熱器具に近づけない



コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■ アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください

● 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

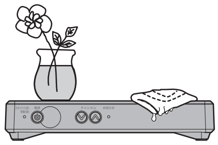
使用上のご注意（つづき）

使用するとき

⚠ 警告

■本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かない

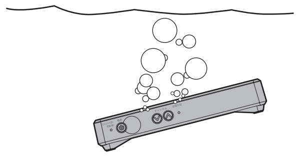




こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

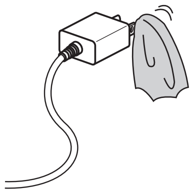
■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない





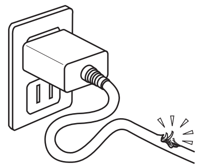
火災・感電の原因となります。
- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■AC アダプタの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、AC アダプタを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
定期的（年に 1 回くらい）に清掃してください。

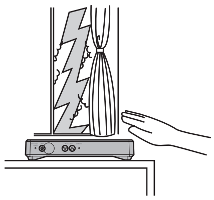
■AC アダプタを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

コードが破損して、火災・感電の原因となります。
AC アダプタが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や AC アダプタには触れない

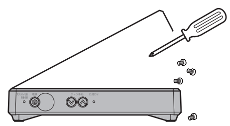




感電の原因となります。

■本機の裏ぶた、キャビネット、カバーは外さない、本機を改造しない

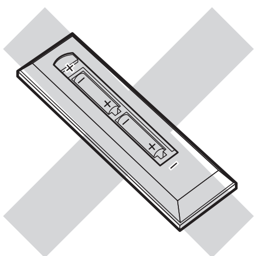




内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

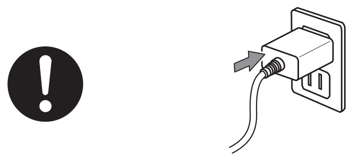
■間違った電池の使い方をしない

- 乾電池は充電しない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示どおりに入れる。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意

■ACアダプタはコンセントに根元まで確実に差し込む



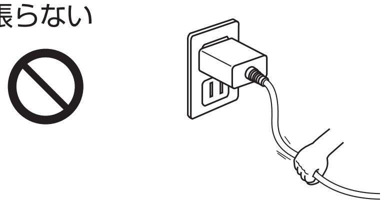
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、ACアダプタの刃に触れると感電することがあります。

■ACアダプタは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない



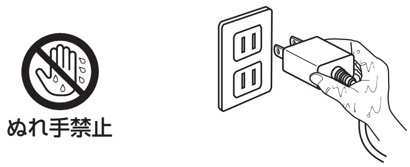
発熱して火災の原因となることがあります。
販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

■ACアダプタを抜くときは、電源コードを引っ張らない



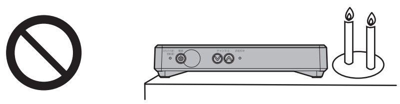
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずACアダプタを持って抜いてください。

■ぬれた手でACアダプタを抜き差ししない



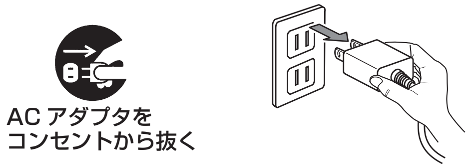
感電の原因となることがあります。

■機器の近くにローソクなどの裸火を置かない



火災・感電の原因となることがあります。

■旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜く



火災の原因となることがあります

お手入れするとき

⚠ 注意

■お手入れの際は、安全のためACアダプタをコンセントから抜いて行う



感電の原因となることがあります。

■年に一度くらいは、内部の掃除を販売店などにご相談ください



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意（つづき）

お守りください

■高温になるところに置かないでください

本機やその他の部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

●直射日光や熱器具の近くなど。

■平坦で安定する場所に設置してください

傾斜面や、平坦でない面、カーペットなどの柔らかい面、変形した面などへの設置をさけてください。

●本機をフローリングに直接床置きすることはさけてください。フローリングの材質・表面状態によっては床面と本機のスベリ止めが強く密着し、本機を持ち上げた際、フローリングの表面がはがれる場合があります。

■B-CAS カード挿入口に異物を挿入しないでください

B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。また、コインなどの金属物や異物を挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

■お手入れの際、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください

●ベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

●化学ぞうきんは、本機が変質する原因となりますのでご使用にならないでください。

●本機の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。

特に、次の洗剤などは亀裂や変色、傷つきの原因となりますので使用しないでください。

・ 酸・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、OA クリーナー、カーワックス、ガラスクリーナー類、化学ぞうきんなど

■輸送する場合は、必ず本機用の梱包箱・クッションをご使用ください

引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

■乾電池を廃棄する場合は、プラス・マイナス端子に絶縁テープを貼るなどして絶縁状態にしてから「所在自治体の指示」に従って廃棄してください

他の金属片等導電性のあるものと一緒に廃棄したりするとショートして、発火、破裂の原因となることがあります。

■本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは、必ず、販売店にご相談ください

■テレビをご覧になるときは、適度な距離と明るさでご覧ください

●画面の縦の長さの３～７倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて目が疲れにくくなります。

●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

●長時間連続して画面を見ていると目が疲れます。時々、画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量で隣り近所へ配慮してください

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドフォンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

お知らせ

■本機の温度について

長時間使用すると、放熱のため本体が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

■電源について

本機の電源はテレビの電源と連動していません。テレビを視聴しないときは本機の電源も忘れずに切ってください。

■仕様変更について

本製品は、社団法人電波産業会（ARIB）が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。

■ B-CAS カードについて

デジタル放送の受信にはB-CASカードが必要です。視聴するときは、本体に付属のB-CASカードが挿入されていることを確認してください。また、B-CAS カードを紛失、破損などされた場合は、B-CAS カスタマーセンターにお問い合わせください。

■ B-CAS カードの取り扱いについて 29

視聴中および待機中は B-CAS カードの抜き差しをしないでください。

B-CAS カードを抜き差しするときは、AC アダプタをコンセントから外してから行ってください。

■お知らせランプについて

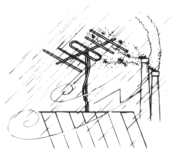
本機をはじめて使用する場合や、AC アダプタを外すなどして本機に電源が供給されない状態が長時間続いた場合は、再度 AC アダプタを接続したときに本体の [お知らせ] ランプがオレンジ色に点滅したままになることがあります。この場合、本体またはリモコンの電源ボタンを押して本機を起動してください。

使用上のご注意（つづき）

お知らせ（つづき）

■アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみいただくためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。



■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、AC アダプタをコンセントから抜いて、約 10 秒待ってから、再度 AC アダプタをコンセントに接続してください。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（90MHz ～ 770MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■本機に記憶される情報などについて

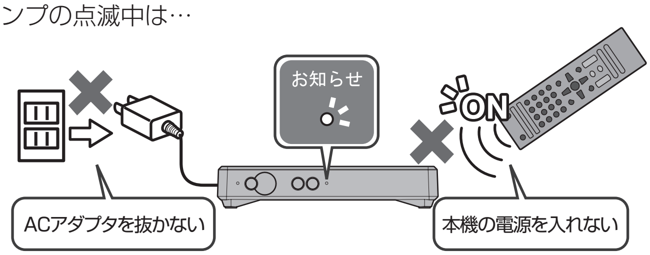
お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

お知らせ機能について

本機には、デジタル放送の放送波を利用して、簡易電子番組表（EPG）を更新したり、本機内蔵のソフトウェアなどを更新または機能拡張させる（ダウンロード）お知らせ機能が搭載されています。

お知らせ機能は本機が待機状態（本体のスタンバイ／受像ランプが赤）のときに自動的に開始されます。お知らせ機能の実行中は、スタンバイ／受像ランプが緑色に点灯し、お知らせランプがオレンジ色に点滅します。お知らせランプがオレンジ色に点滅している間は、本機の電源を入れたり、AC アダプタを抜いたりしないでください。

お知らせランプの点滅中は…



留意点

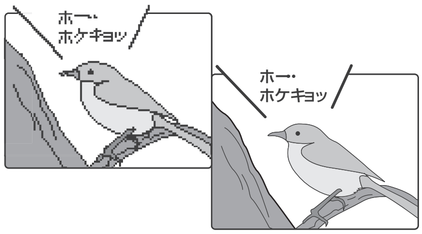
■ 付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちに B-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンター 29 へご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
■ 万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。
■ この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
■ 本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより変更することがあります。
■ ダウンロードとは、デジタル放送を受信してダウンロードデータを取り込み、本機のソフトウェアを最新のものに書き換える機能です。

本機でできること

本機はお使いのアナログ放送専用テレビなどでデジタル放送を見ることができる地上デジタルハイビジョンチューナーです。手軽にデジタル放送がお楽しみいただけます。
・本機では、デジタル放送の以下の機能が利用できます。

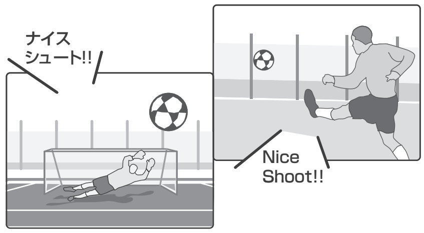
高画質

デジタル放送では、従来のアナログテレビに比べ、高画質・高音質を楽しめます。



マルチ映像・音声

番組に複数の映像や音声が用意されている場合、映像や音声を切り換えることができます。
たとえば、映像のアングルを切り換えたり、音声を日本語と英語で切り換えたりすることができます。



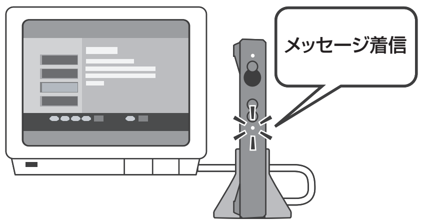
字幕放送

字幕表示に対応した番組の場合、画面に字幕を表示することができます。また、番組が複数の言語に対応している場合、表示する言語も選べます



お知らせ機能

デジタル放送の放送波を利用して、本機からのお知らせをテレビ画面上で確認することができます。本機に内蔵されているソフトウェアのアップデートに利用されます。



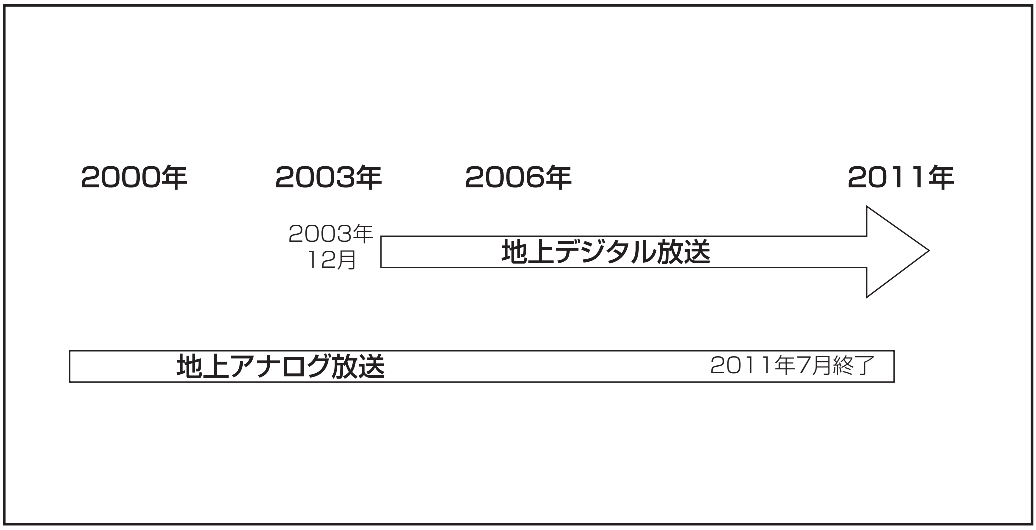
お知らせ

本機は、地上デジタル放送におけるデータ放送、双方向通信には対応しておりません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は 2006 年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。
この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は 2011 年 7 月までに終了することが、国の法令によって定められています。



お知らせ

●地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信をさけるために、当初は非常に小さな出力で放送が開始され、段階的に送出出力が上げられていく予定です。このため、放送開始当初は受信エリアが限定されます。
●ブースターなどをご使用されている場合は、段階的に送出出力が上げられた際に、ご使用のブースターなどのレベル調整が必要な場合があります。このような場合は、お買い上げの販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。

各部のなまえ

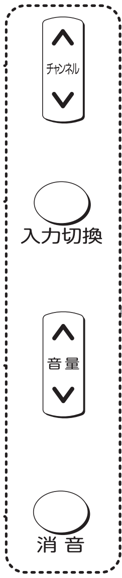
リモコン

テレビの操作ボタン



テレビ電源 30

テレビの電源を入／切します。



テレビチャンネル

テレビのチャンネルを切り換えます。

入力切換 30

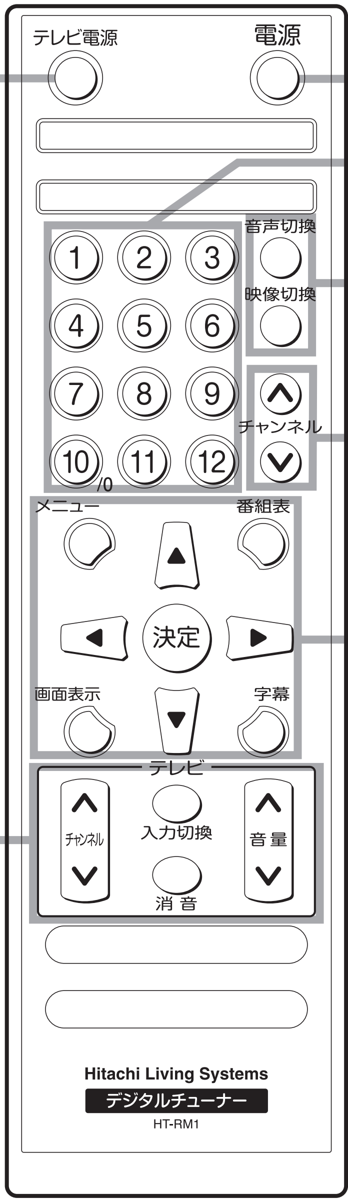
テレビに接続されている機器からの映像に切り換えます。

音量 36

音量の調節をします。

消音 36

音を入／切します。

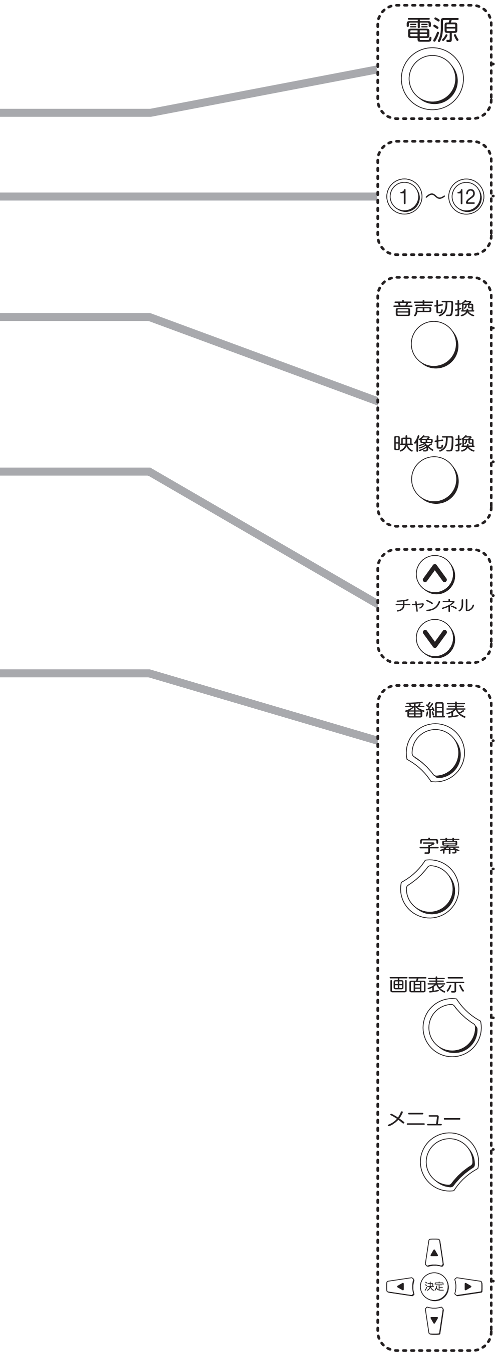


メ　モ

参照ページマークについて

00 マークは、取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

本機の操作ボタン



電源 30

本機の電源を入／切します。

チャンネル 34

本機のチャンネルを切り換えます。

音声切換 56

複数の音声が含まれている番組の場合、音声を切り換えます。

映像切換 56

複数の映像が含まれている番組の場合、映像を切り換えます。

チャンネルアップ／ダウン 34

本機のチャンネルを昇順（上）／降順（下）で切り換えます。

番組表 40

簡易電子番組表（EPG）を表示します。

字幕 56

字幕が含まれている番組の場合、字幕の表示／非表示を切り換えます。

画面表示 36

見ている番組の詳細情報を表示します。

メニュー 42

メニュー画面を表示します。

メニュー操作 42

メニュー画面で項目を選んだり、操作を決定します。

各部のなまえ（つづき）

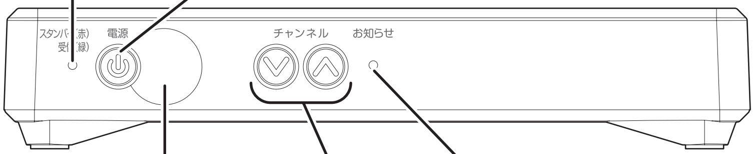
本体　前面

スタンバイ／受像ランプ
スタンバイ (赤)／受像 (緑)

本機の電源の入／切を示します。

電源ボタン

本機の電源を入／切します。



お知らせランプ 62

お知らせを受信したときに点灯します。

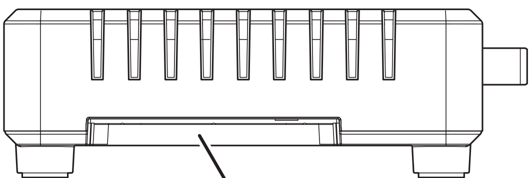
チャンネルアップ／ダウン

チャンネルを昇順／降順で切り換えます。

リモコン受光部

リモコンの信号を受信します。

本体　側面（右）



B-CAS カード挿入口 28

B-CAS カードを差し込みます。

本体　後面

地上デジタルアンテナ端子 24

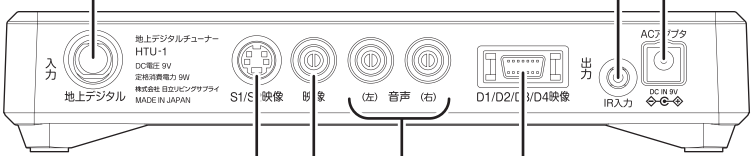
壁面アンテナ端子からアンテナ線を接続します。

電源端子 30

AC アダプタを接続します。

IR 入力 22

IR レシーバー（市販品）を接続します。



S 映像端子(映像出力) 26

S 端子ケーブル（市販品）を差し込んでテレビと接続します。

D 映像端子(映像出力) 26 60

D 端子ケーブル（市販品）を差し込んでテレビと接続します。

映像端子(映像出力) 26

映像・音声コード（付属品）の黄を差し込んでテレビの映像入力（黄）と接続します。

音声端子(音声出力) 26

映像・音声コード（付属品）の赤と白または音声ケーブル（市販品）を差し込んでテレビの音声入力（赤・白）と接続します。

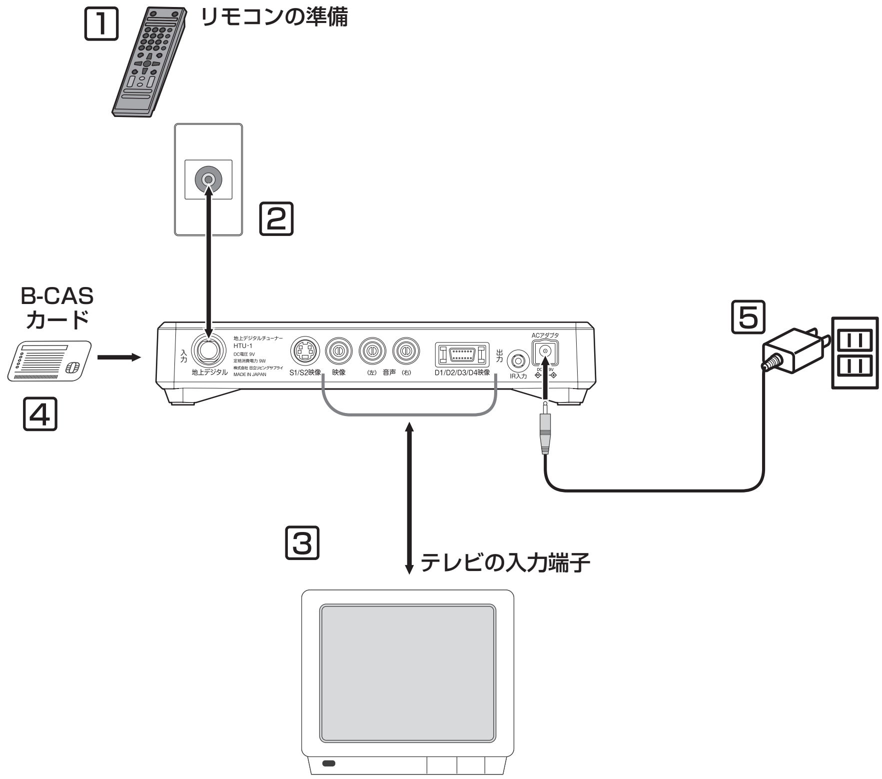
お知らせ

IR レシーバー（市販品）は（株）ピクセラ社製、形名「PIX-RM030-PZZ」を推奨しています。

設置と準備の進めかた

重要 本機の設置やアンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。（設置費用については、お買上げの販売店にご相談ください。）

ご自分で設置と準備をされるときは、下記の順番で作業してください。



地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、下記の要件がすべて整っていることが必要です。

1. 受信地点は、すでに放送地域になっていますか？

2006 年 12 月から全国の都道府県庁所在地において地上デジタル放送が見られるようになりました。その後、その受信可能エリアは順次拡大される予定です。地上デジタル放送の受信エリアの目安は、総務省またはお近くの地方総合通信局にお問い合わせください。

2. UHF アンテナは、地上デジタル放送に対応していますか？

UHF アンテナには全帯域型と帯域専用型がありますので、全帯域型または地上デジタル放送対応型をご使用ください。

3. UHF アンテナは、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていますか？

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できますが，送信塔の方向が違う場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

4. 地上デジタル放送受信機の入力信号は、所要の信号強度がありますか？

地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されますので、受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

- **ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。**
- **地上デジタル放送を受信するためには、最初に「受信する放送」、「都道府県域」 32 の設定と「チャンネルスキャン」 44 の操作が必要です。**

1 付属品 3 を確認し、リモコンに電池を入れます 22

2 アンテナ線と本機を接続します 24

3 本機とテレビをケーブルで接続します 26

4 B-CAS カードを挿入します（重要） 28

5 AC アダプタを本機に接続します
本機とテレビの電源を入れます 30

6 お住まいの地域に合わせて受信設定をします 32

リモコンの取り扱い

乾電池を入れる

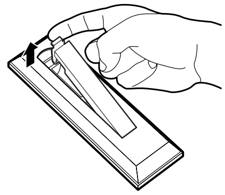
⚠注意

乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、リモコンの表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがあります。その場合は新しい乾電池と交換してください。

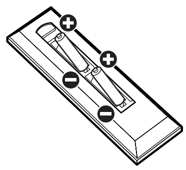
1 電池ぶたをはずす

矢印の方向に押しながら開けます。



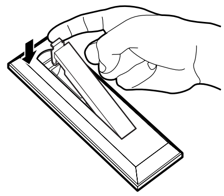
2 乾電池を入れる

付属の単 4 形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。



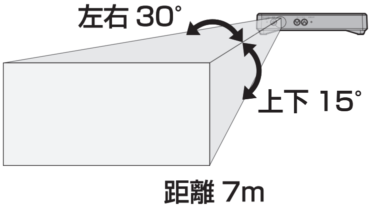
3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。



● リモコンの使い方

リモコンを操作するときは、リモコンの先端を受光部に向けてください。リモコンは受光部から約 7m、上下 15°、左右 30° の範囲内で操作できます。



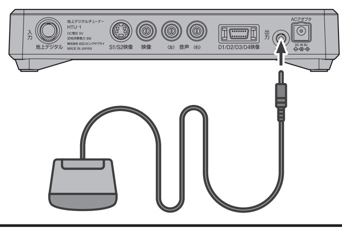
メ　モ

IR レシーバー（市販品）の取り付け

本体が隠れてしまい、リモコン操作がしにくい場合などは、IR レシーバー（市販品）を取り付けることをおすすめします。本体の IR 入力端子に IR レシーバー（市販品）を接続してください。

※ IR 入力端子に IR レシーバー（市販品）を接続しているときは、本体側の受光部は反応しません。

※ IR レシーバー推奨品：（株）ピクセラ社製、形名「PIX-RM030-PZZ」



リモコンを設定する

付属のリモコンでお使いのテレビを操作できるように、テレビメーカーごとのリモコン信号を設定します。



1 リモコンの[テレビ電源]ボタンを押しながら、お使いのテレビメーカーに対応した番号(下表)を押す

例：日立の場合

[テレビ電源]ボタンを押しながら、[1]ボタンを押して、次に[4]ボタンを押す。

- リモコンはテレビに向けて操作してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号があります。リモコンが動かない場合や同じメーカーの他の機器が誤作動する場合は、別のリモコン信号でお試しください。

お知らせ

テレビの種類や機種によっては、本機のリモコンで操作できないものや特定のボタンが操作できない場合があります。

メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー	番号	メーカー	番号
松下電器　A	10/0、1	**日立**	**1、4**	アイワ　2	2、7	オリオン　1	4、10/0
松下電器　B	10/0、2	三洋　A	1、5	アイワ　3	2、8	オリオン　2	4、1
シャープ　A	10/0、3	三洋　B	1、6	サムスン　1	2、9	LG　1	4、2
シャープ　B	10/0、4	三洋　C	1、7	サムスン　2	3、10/0	LG　2	4、3
シャープ　C	10/0、5	SONY　1	1、8	サムスン　3	3、1	LG　3	4、4
三菱電機　A	10/0、6	SONY　2	1、9	サムスン　4	3、2	LG　4	4、5
三菱電機　B	10/0、7	NEC　1	2、10/0	サムスン　5	3、3	LG　5	4、6
東芝　1	10/0、8	NEC　2	2、1	フナイ　1	3、4	LG　6	4、7
東芝　2	10/0、9	富士通ゼネラル1	2、2	フナイ　2	3、5	LG　7	4、8
東芝　3	1、10/0	富士通ゼネラル2	2、3	フナイ　3	3、6	フィリップス1	4、9
ビクター　1	1、1	富士通ゼネラル3	2、4	フナイ　4	3、7	フィリップス2	5、10/0
ビクター　2	1、2	パイオニア	2、5	フナイ　5	3、8	フィリップス3	5、1
ビクター　3	1、3	アイワ　1	2、6	フナイ　6	3、9		

お守りください リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないように本機の向きを変えてください。
- 電子レンジなどの加熱料理器に、リモコン送信機・乾電池を入れて加熱しないでください。発熱により火災・故障の原因となります。

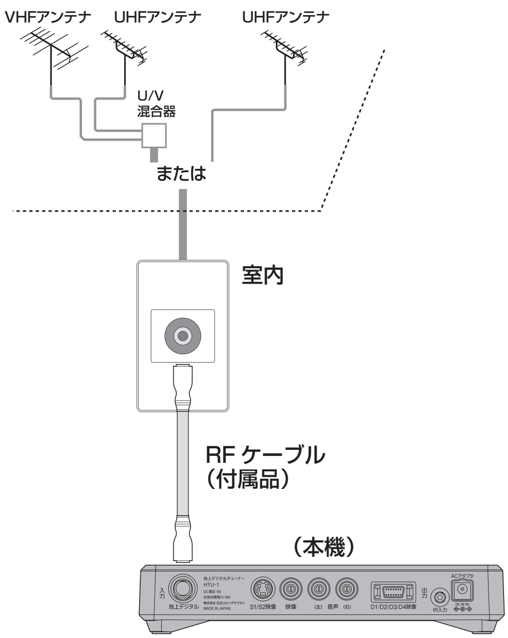
アンテナと接続する

⚠注意
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

① アンテナの種類に応じ、下図の要領でアンテナ端子に接続してください。
② **地上デジタル放送を受信するときは、UHF アンテナを使用します。VHF アンテナでは受信できません。**また、現在お使いのアンテナが UHF アンテナでも、調節や取り替えが必要な場合もありますので、その際は、販売店にご相談ください。
③ CATV ケーブルと接続するときは、伝送方式や接続について詳しくは CATV 会社にお問い合わせください。

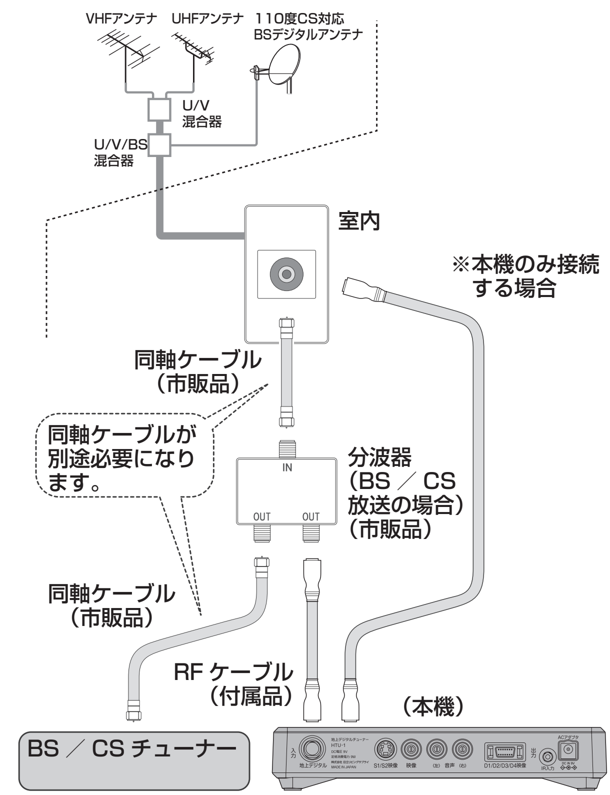
アンテナの接続

UHF/VHF アンテナが混合または UHF アンテナが単独のとき



室内のアンテナ端子と本機を付属の RF ケーブルで接続する。

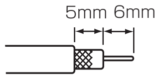
BS･CS が混合のとき（例：UHF/VHF/BS 混合入力）



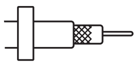
室内のアンテナ端子と分波器を市販の同軸ケーブルで接続する。
分波器の U/V 出力端子と本機を付属の RF ケーブルで接続する。
分波器の BS/CS 出力端子と BS/CS チューナを市販の同軸ケーブルで接続する。
※ 本機のみをご使用の場合は、壁面のアンテナ端子に直接本機を接続してください。

F 形接栓（市販品）の接続

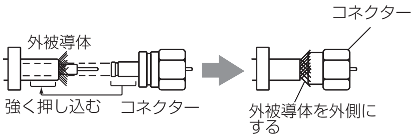
1 先端を加工する



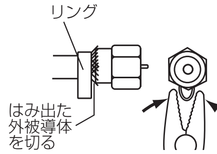
2 リングを通す



3 コネクター先端部を外被導体内側に差し込み、強く押し込む



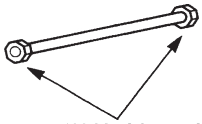
4 ペンチなどを使い、リングをコネクターの根元で固定する



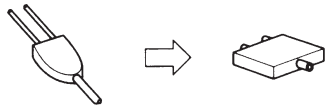
きれいな映像を楽しむために

きれいな映像をお楽しみいただくには、アンテナ線や各種ケーブル類の接続状態が非常に大切です。

● アンテナ線は同軸ケーブルに F 形接栓を接続して使用することをおすすめします。



● 市販品の BS/UV 分波器･分配器はシールドタイプの使用をおすすめします。



お守りください

アンテナ線接続時のご注意

● アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
（平行フィーダーを使用しますと受信状態が不安定となり、妨害電波を受けやすく、画面にしま模様が現れたりします。）
● やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、本機よりできるだけ離してください。
● 室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、お避けください。
● アンテナ線に対して、AC アダプタや他の接続コード類をできる限り離してください。

CATV ケーブルと接続するときの地上デジタル放送受信について

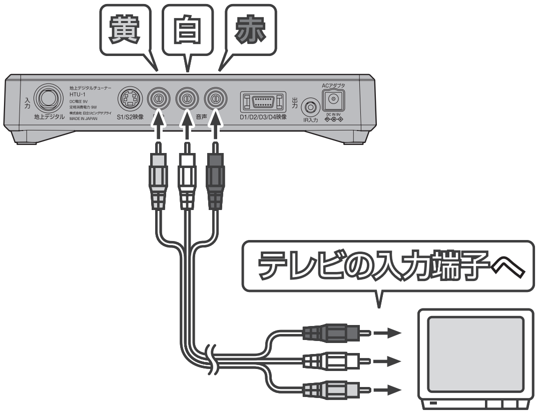
CATV には、以下のような地上デジタル放送の伝送方式があります。詳しくは、CATV 会社にお問い合わせください。

伝送方式	本機の対応
トランスモジュレーション方式	UHF 帯の地上デジタル放送をケーブルテレビ局の電波に変換して伝送します。本機のアンテナ端子に接続しても地上デジタル放送を受信できません。CATV のホームターミナルと接続してください。
同一周波数パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を変換しないでそのまま伝送します。本機の地上デジタルアンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。
周波数変換パススルー方式	UHF 帯の地上デジタル放送を CATV で伝送可能な別の周波数に変換して伝送します。本機の地上デジタルアンテナ端子に接続して地上デジタル放送を受信することができます。

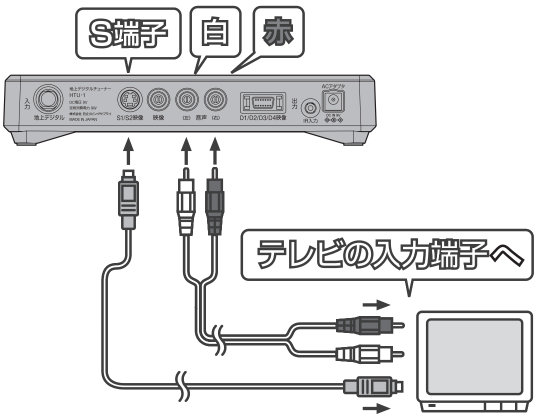
テレビと接続する

本機にはテレビと接続する映像端子が3種類あります。このうちの1つを選んでテレビを接続します。

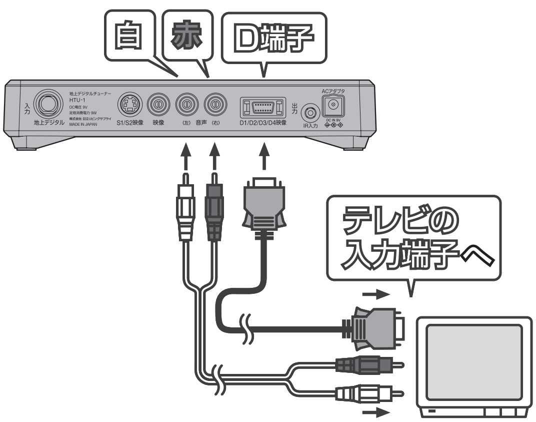
映像・音声コード（付属品）で接続する



S 端子ケーブル（市販品）で接続する



D 端子ケーブル（市販品）で接続する



本機とテレビを映像・音声コードで図のように接続してください。

本機のS端子（S1/S2映像）とテレビのS入力端子を市販品のS端子ケーブルで接続してください。

次に付属の映像・音声コード（白）（赤）を図のように接続してください。

※付属の映像・音声コードの映像端子は使用しません。

本機のD端子（D1/D2/D3/D4映像）とテレビのD入力端子を市販品のD端子ケーブルで接続してください。

次に付属の映像・音声コード（白）（赤）を図のように接続してください。

※付属の映像・音声コードの映像端子は使用しません。

※D端子でテレビと接続する場合は、「D端子出力設定」が必要です。P.32までの手順が終了したら、D端子の設定 60 をしてください。

●ケーブルの種類と役割

本機には複数の映像端子がありますが、すべての映像端子を同時に使うことはありません。お使いのテレビが搭載している端子に応じて、必要なケーブルをテレビと接続してください。

ケーブル	はたらき
映像・音声コード	端子が赤と白の線が音声を、黄色の線が映像を伝送します。赤、白、黄それぞれの端子の色に合わせて接続してください。
S端子ケーブル	映像信号を2つ(輝度信号と色差信号)に分けて伝送します。このため、映像・音声コードよりもきれいな画質で表示されます。このケーブルで音声信号は伝送されないので、個別に音声ケーブルが必要です。
D端子ケーブル	映像信号を3つ（輝度信号と2種類の色差信号）に分けて伝送します。画質は映像・音声コード、S端子ケーブルより優れています。このケーブルで音声信号は伝送されないので、個別に音声ケーブルが必要です。また、映像を最適に表示するため、「D端子出力設定」が必要です。 60

お知らせ

ワイドテレビでご覧になる場合

テレビの画面サイズ設定により、周辺が一部切れることがあります。その場合は、テレビ側で画面サイズを最適となるモードに設定してください。

B-CAS カードを挿入する（重要）

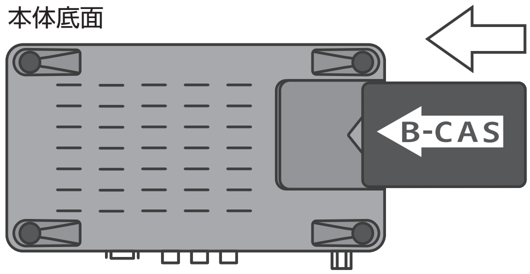
⚠注意

B-CAS カードを挿入されないと地上デジタル放送が映りません。

本機に付属の B-CAS カードは、本機の AC アダプタを電源コンセントに接続しない状態で、下記の手順に従って挿入してください。

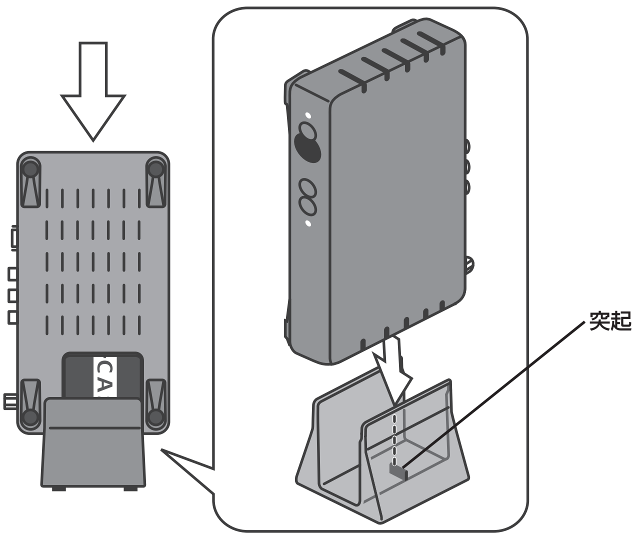
1 B-CAS カードを挿入する

絵柄表示が見える面を底面側にして、B-CAS カード表面の矢印向きを挿入口へ合わせ、
挿入が止まるまでゆっくりと確実に差し込む。



2 スタンドを取り付ける（縦置きの場合）

本体を縦置きにしたい場合は、次のようにスタンドを取り付けます。
スタンドの突起側に本機の上面を合わせせる。

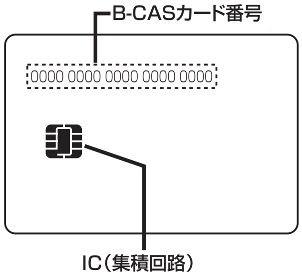


B-CAS カードについて

本機に付属の B-CAS カードには 1 枚ごとに違う番号（B-CAS カード番号）が付与されており、「（株）ビー・エス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター」への問い合わせの際にも必要となります。

本機に付属の B-CAS カードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みの上、ユーザー登録はがきに必要事項をご記入・押印してポストに投かんし、B-CAS カードを必ず登録してください。（登録料は無料です。）

■ B-CAS カードについてのお問い合わせ（紛失など）
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250



設置する

お守りください

B-CAS カード取り扱い上の留意点

- ●B-CAS カードを折り曲げたり、変形させないでください。
- ●B-CAS カードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- ●B-CAS カードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- ●B-CAS カードの IC（集積回路）部には手をふれないでください。
- ●B-CAS カードの分解加工は行わないでください。
- ●B-CAS カードは左記手順をご覧の上、本機底面の B-CAS カード挿入口に、奥まで正しく挿入してください。
- ●ご使用中に B-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。

B-CAS カードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の AC アダプタを電源コンセントから抜いたあと、ゆっくり B-CAS カードを抜いてください。B-CAS カードには IC（集積回路）が組み込まれているため、画面に B-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

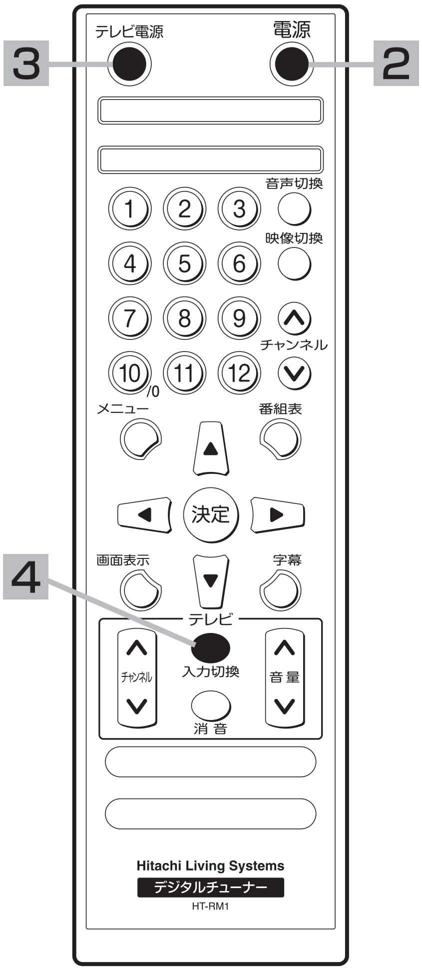
お守りください

- ●本機専用の B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ●裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うと B-CAS カードは機能しません。

メ　モ

B-CAS カード番号（カード ID）は、カードを挿入したままでも本機で確認することができます。操作方法は「機器情報を見る」52をご覧ください。

電源を入れる



1 AC アダプタをつなぐ

① AC アダプタを本体と接続します。

② AC アダプタをコンセントに差し込みます。

●スタンバイ／受像ランプが赤色に点灯します。

2 本機の電源を入れる

リモコンの [電源] ボタンを本体前面のリモコン受光部に向けて押します。

●スタンバイ／受像ランプが点滅して、しばらくすると緑色に点灯します。

3 テレビの電源を入れる

リモコンの [テレビ電源] ボタンをテレビに向けて押します。

※お使いのテレビメーカーに合わせたリモコンコードに設定してください。23

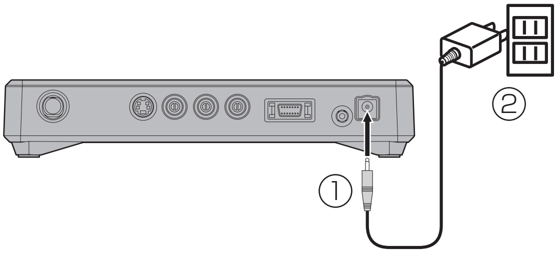
4 テレビの入力を切り換える

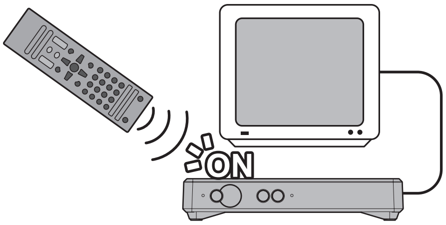
リモコンの [入力切換] ボタンで本機を接続したテレビの端子 26 の入力に切り換えます。

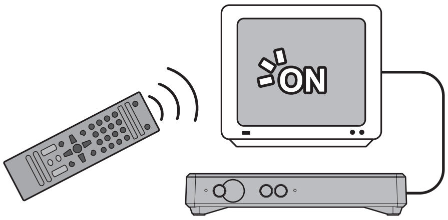
お知らせ

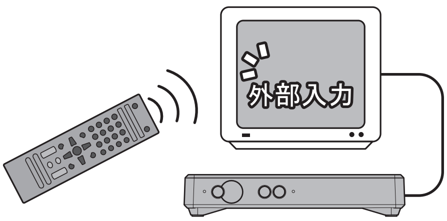
お知らせランプについて

本機をはじめて使用する場合や、AC アダプタを外すなどして本機に電源が供給されない状態が長時間続いた場合は、再度 AC アダプタを接続したときに本体の [お知らせ] ランプがオレンジ色に点滅したままになることがあります。この場合、本体またはリモコンの電源ボタンを押して本機を起動してください。









⚠警告

指定の電源電圧（AC100V）でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- ACアダプタをすぐに抜くことができるように本機を据え付けてください。本機が異常や故障となったとき、ACアダプタをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜いてください。

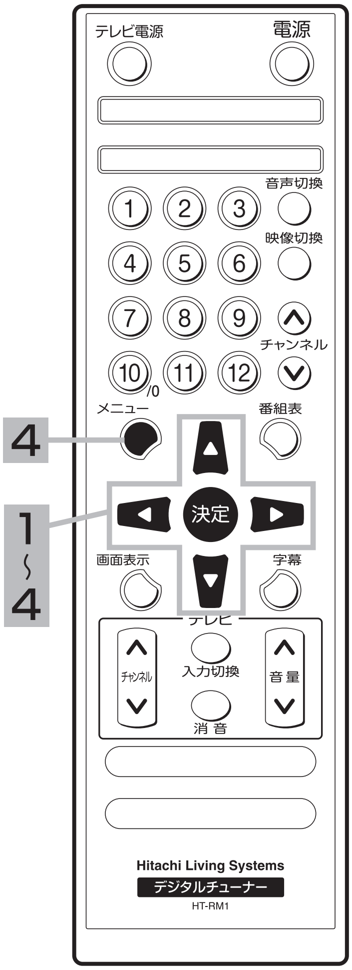
お知らせ

本機の電源が入っている状態で、ACアダプタを抜き差しするとスタンバイ状態（スタンバイ／受像ランプが赤色に点灯）になります。
再度［電源］ボタンで操作してください。
この場合、最後に視聴していたチャンネルは記憶されていません。

チャンネルを設定する

本機をはじめて使用するときは、お住まいの地域で受信できる放送局を設定する必要があります。
※ここからは付属のリモコンで操作します。

リモコンの［メニュー］ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。「チャンネル設定」が選択（オレンジ色表示）されているので［決定］ボタンを押してください。「チャンネルスキャン」が選択されます。［決定］ボタンを押してから以下の手順でチャンネル設定してください。



1 受信する放送を選ぶ

1. 「受信する放送」が選択されていることを確認して、[決定] ボタンを押します。
2. [▲] ／ [▼] ボタンで「一般放送」か「CATV」を選んで [決定] ボタンを押します。

●ケーブルテレビをご利用の場合は「CATV」を、それ以外の場合は「一般放送」を選んでください。

2 地域を設定する

1. [▼] ボタンで「都道府県域」を選んで [決定] ボタンを押します。
2. [▲] ／ [▼] ボタンでお住まいの地域を選んで [決定] ボタンを押します。

●この設定は、受信した放送局のチャンネル番号をお住まいの地域で用いられている番号に自動的に割り当てるための設定です。

3 チャンネルスキャンを開始する

[▲] ／ [▼] ／ [◀] ／ [▶] ボタンで「初期スキャン」を選んで [決定] ボタンを押します。

●チャンネルスキャンには数分かかります。

4 リモコンボタンの割り当てを変更する

リモコンの①～⑫にお好みの放送局を割り当てます。そのままでよければ、[メニュー] ボタンを押してテレビ画面に戻ります。

1. [▲] ／ [▼] ボタンで割り当てを変更したいチャンネルを選んで、[決定] ボタンを押します。
2. [▲] ／ [▼] ボタンで希望のチャンネルを選んで、[決定] ボタンを押します。

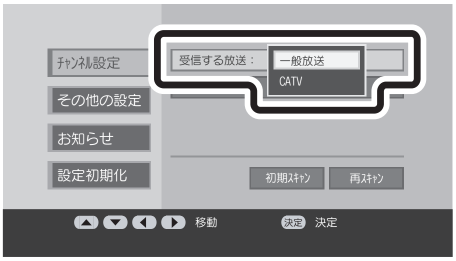
●この操作を必要なだけ繰り返します。

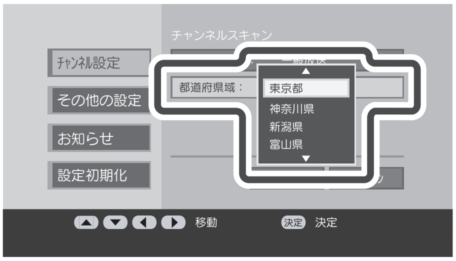
3. リモコンの [メニュー] ボタンを押します。

●テレビの画面に戻ります

お知らせ

初めてお使いになる時、または「設定初期化」64を行った時は、自動的にメニュー画面が表示されます。









以上でチャンネルの設定は終了です。
これでデジタル放送を見ることができます。
デジタル放送を見るときの操作については、34以降を参照してください。

お知らせ

ケーブルテレビをご利用の場合

ケーブルテレビをご利用の場合は、ケーブルテレビ会社からの配信方式が同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式であれば、本機を使用できます。配信方式についてはご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

お知らせ

- 地上デジタル放送では、CH ボタン（1 ～ 12）の番号に対応した３桁のチャンネル番号が付けられています。番組表などには、この３桁のチャンネル番号が表示されます。
  1 つの放送局で複数の放送が行われている場合は、この３桁のチャンネル番号の下１桁が異なります。
- ３桁のチャンネル番号は、放送地域内では、別の番号になっています。
  隣接地域の放送局で同じ３桁番号になる場合は、放送局を区別するために、さらにもう１桁番号が付加されています。（付加される番号を枝番といいます。例：031-1）
- お住まいの地域で新しく放送が開始された場合、「再スキャン」を選び、受信放送局を追加する必要があります。